

今川公園 好循環通信

vol. 3 【自然に好循環・頑張って好循環】

】

暑い暑い、いつまで夏が続くのかと思っている間に気が付けば、彼岸花が咲きキンモクセイも満開で、園内どこでもよい香りを感じることができます。

この香りに乗って、中秋から晩秋へと季節が移ろい、いよいよ落ち葉の季節になります。好循環のスタートは、落ち葉を集めるところから？いやいや、採りためた落ち葉が腐葉土になり花壇などに鋤きこんだ時か？循環の始まりを見定めるのは難しい。落ち葉集めや剪定枝の整理、粗朶作りなど循環の一部が動き始めた時が、いつでもスタート、悪循環にならないように頑張ります。

落ち葉は収集し堆積しておよそ1年かけて熟成し腐葉土となります。この土を畑や花壇の土に混ぜることで団粒構造の栄養豊富な土になり作物を育てます。

また、このように堆積した落ち葉の中に「カブトムシ」が卵を産み付けて、孵化した幼虫が落ち葉を食べて蛹になります。近年の今川公園では夏になるとたくさんの「カブトムシ」を見ることができます。



落ち葉の中に



カブトムシ がたくさんいます

来年の夏まで待ってね



好循環は落ち葉だけではなくありません。剪定枝も循環させます。剪定した細枝を束ねて粗朶を作り斜面地の表土流失を抑えて、落ち葉を留め昆虫の棲家や産卵場所になります。やがて腐朽すればこれも土にかえります。



緑とコミュニティーグループ
公式キャラクター
『きりかぶくん』

今川公園 指定管理者 緑とコミュニティーグループ